

# あっぱれ!

令和6年10月17日  
第3学年 学年通信  
第9号

思い爆発臨時号

## ここまでの取組に「あっぱれ！」

合唱コンクールが明日に迫ってきました。思いは高まっていますか。私は、4日（金）に行われた学年合唱コンクールで、みなさんに「一生懸命」とか、「全力」って、軽い言葉じゃない。晴れやかな気持ちで舞台にあがれるかどうか、それは、そこまでの過程にかかっている。学年で、さらに高みをめざそう」という話をしました。

休み時間、北中のどこにいても、3年生の歌声が響いていました。身体全体を動かして歌っている姿に、思いの高まりを感じました。思い切った発声練習も聞こえてきました。パートの仲間で顔を寄せ合い、打ち合わせをしている姿もありました。キーボードを使って音程を整えている姿もありました。クラスのためにできることを考え、発信している人もいましたね。仲間と一緒に歌おうと、勇気ある一歩を踏み出した人もいます。そして、夜遅くの職員室で楽譜片手に合唱を聞き、タブレットや楽譜に、いろいろ書き込んでいる先生たちもいます。それぞれの立場で、自分にできる形で頑張ろうとしている姿がたくさん見られて、思わずぐっとくる瞬間がたくさんあります。

教室でみなさんの会話を聞いていると、いろんな言葉が聞こえてきます。

「学校から帰っても、合唱のことを考えている。こうやって、みんなでとことん合唱のことを考えている時間が、本当に幸せ」「練習しているだけで、涙が出そうになる。本番どうしよう」「クラスのために本気になれる人間になりたい」「あと一歩、気持ちをもっとそろえたい」「このクラスでよかった」全力で頑張っているみなさんからこぼれる全力の言葉。きっとみなさんの歌声は、会場にいる人たちの心を震わせる、とてつもないものになることでしょう。

3年生の合唱は、1組さんから始まります。『親知らず子知らず』は、覚悟をもって挑んだ曲。学年全体が合唱に向かったのは、先頭きってスタートした1組さんが手本となったから。目の輝きが違いました。誰よりも練習してきた熱さと自負をもって、「グワツと」最高到達点へ上り詰めてね。

続いて登場するのは5組さん。『Gifts』は、仲間を励ますようなあたたかな曲。大切な人の心に響かせたい、でも、何よりも響かせたいのは、ここまで一緒に過ごしてきた仲間の心のはず。チューナーを使って楽しそうに音を合わせる姿にみんなほっこり。聞き手の心も「照らしてみせて」ね。

次に登場するのは3組さん。『証』は、後半の盛り上がり熱い曲。水谷先生の合唱練習から教室に戻り、テナーパートが一生懸命練習する様子を見て、みんながにこにこしながらその輪に加わり、楽しそうに全員で歌う姿は最高でした。本番を終えて「ありがとう」が心に浮かぶといいね。

そして登場するのは4組さん。『虹』は出会いと別れを歌った温かな曲。練習を終えるたび、本気で言葉を発信し合うその雰囲気はさすがミニオンズ。この仲間で歌うことを楽しんでいることが伝わってきました。本番が終わっても、虹は4組さんの心に「光を残して」いくのでしょうか。

最後に登場するのは2組さん。『友』は、未来の友を励ます優しい曲。確かな答えのない合唱練習の中、「平和で最優秀賞」をめざして取り組んできました。わいわいと話し合う雰囲気のある2組さんだから、ためらいなく声が出し合える。会場には、友を「支えてくれる声」が響き渡るはずです。

さあ、幕が開けます。とことんやりきってほしい。晴れやかな気持ちで終えてほしい。「合唱に本気で挑むってすごいことなんだ」って見せてほしい。そして、クラスを超えて、互いの全力をたたえ合ってほしい。明日を思い浮かべるだけで涙が出そう。朝ごはんしっかり食べて、元気においでね。

頑張れ、あっぱれ！3年生！